



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社エアークローゼット 上場取引所 東
コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 天沼 聡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 森本 奈央人 TEL 03-6452-8654
定時株主総会開催予定日 2026年9月29日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年9月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期	5,175	4.4	△234	—	△252	—	△246	—
2025年6月期	4,957	17.6	102	—	88	—	23	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年6月期	△29.78	—	△59.0	△9.4	△4.5
2025年6月期	2.86	2.85	4.5	3.2	2.1

（参考）持分法投資損益 2026年6月期 —百万円 2025年6月期 —百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期	2,626	305	11.2	35.63
2025年6月期	2,752	554	19.6	65.33

（参考）自己資本 2026年6月期 295百万円 2025年6月期 540百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	940	△1,408	41	665
2025年6月期	1,060	△1,389	△32	1,092

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2027年6月期の業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,690	9.9	51	—	27	—	27	—	3.26

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年6月期	8,284,200株	2025年6月期	8,276,200株
2026年6月期	一株	2025年6月期	一株
2026年6月期	8,283,794株	2025年6月期	8,218,512株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年8月14日（金）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更に関する注記)	11
(持分法損益等の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

当該物流プラットフォームを活用した都度課金型のサービスで、結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」を2024年11月にスタートしており、2025年10月からは、ドレスのみならず、ブラックフォーマルやアウターなどに対象商品を広げ、「airCloset Spot Rental」として認知拡大に努めています。

さらに、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおいて3件受託をしております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

また、サービス利用対象者の拡大を図るべく、2026年3月より、「airCloset」において当社スタイリストがお洋服を選ぶ従来のパーソナルスタイリングのサービスに加え、お客様が自分で選択する「セルフセレクト」をリリース、2026年5月28日からは男性向けファッションレンタルサービス「airCloset Men's」を開始いたしました。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当事業年度においては世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては、既存顧客のロイヤルティの高さは変わらず6ヶ月超継続してくださっているロイヤル会員数および継続率は順調に推移していますが、セルフセレクトのリリースに伴い見込んでいた、過去退会会員からの再登録が想定を下回ったことに加え、認知度向上や会員獲得構造の変革に時間を要していること、これに伴って春における広告宣伝を抑制したことから、事業年度末の会員数は前年同時点比で減少しております。

アライアンス強化やリアルイベントの開催、オウンドメディアの強化といった認知度向上施策、広告運用の内製化および改善などの会員数増加に向けた施策は着実に進捗しており、2027年6月期においても加速を図り会員数の増加につなげてまいります。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高5,175,679千円（前年度比4.4%増）、調整後EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）908,491千円（前年度比11.7%減）、営業損失234,470千円（前年度は102,423千円の営業利益）、経常損失252,320千円（前年度は88,599千円の経常利益）、当期純損失246,717千円（前年度は23,541千円の当期純利益）となりました。

なお、当社の事業セグメントはパーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における流動資産は1,097,060千円となり、前事業年度末に比べ469,886千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少427,302千円によるものであります。固定資産は1,529,820千円となり、前事業年度末に比べ343,771千円増加しました。これは主に、年間を通じての月額会員数の増加に応じて、必要在庫数が増加したことに伴いレンタル用資産が188,921千円増加したことに加え、新倉庫の稼働開始により建物が123,787千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,626,881千円となり、前事業年度末に比べ126,115千円減少しました。

（負債）

当事業年度末における流動負債は1,715,703千円となり、前事業年度末に比べ97,850千円増加しました。これは主に、短期借入金の増加111,497千円及び新規借入の実行及び長期借入金を一年内返済予定の長期借入金に振り替えたことによる減少360,000千円によるものであります。固定負債は605,528千円となり、前事業年度末に比べ24,824千円増加しました。これは主に、長期借入金の返済による減少20,000千円及び資産除去債務の増加44,824千

円であります。

この結果、負債合計は2,321,232千円となり、前事業年度末に比べ122,675千円増加しました。

（純資産）

当事業年度末における純資産は305,649千円となり、前事業年度末に比べ248,789千円減少しました。これは主に、当期純損失計上による利益剰余金の減少246,718千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は11.2%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は665,320千円となり、前事業年度末に比べ427,302千円減少しました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は940,530千円（前年度は1,060,627千円の獲得）となりました。これは主に、減少要因として、税引前当期純損失245,955千円（前年度は24,168千円の税引前当期純利益）、棚卸資産の増加額31,093千円（前年度は5,947千円の棚卸資産の減少額）、仕入債務の減少額14,150千円（前年度は18,314千円の仕入債務の増加額）、前受金の減少額9,702千円（前年度は50,492千円の前受金の増加額）等があった一方で、増加要因として、減価償却費769,143千円（前年度は562,532千円の減価償却費）、レンタル用資産売却等に伴う原価振替額373,818千円（前年度は363,696千円のレンタル用資産売却等に伴う原価振替額）、売上債権の減少額80,503千円（前年度は216千円の売上債権の減少額）、未払金の増加額11,666千円（前年度は33,667千円の未払金の増加額）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は1,408,980千円（前年度は1,389,766千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,353,273千円（前年度は1,334,007千円の支出）、敷金及び保証金の差入による支出45,707千円（前年度は1,000千円の支出）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は41,147千円（前年度は32,764千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出400,000千円（前年度は200,000千円の支出）があった一方で、長期借入れによる収入340,000千円（前年度は該当ありません）、短期借入金の純増加額111,497千円（前年度は155,177千円の純増加額）等があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

世の中では賃上げの定着等により個人消費に回復の傾向が見られる一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

また、ファッション市場においては気候変動の影響により夏が長期化し、春や秋が短くなるといった変化への対応が求められています。

このような状況の中、当社は、6ヶ月を超えてご利用いただくロイヤル会員数及び継続率が順調に推移するなど、既存のお客様に対する提供価値に変化はないものと認識しております。一方、当事業年度（2026年6月期）は、新規会員の獲得が想定を下回ったこと等により会員数が減少し、営業損失を計上いたしました。翌2027年6月期は、売上高100億円の達成を見据え、SNS広告に偏重した新規会員の獲得手段を見直し、アライアンスの強化やオウンドメディアの強化、広告運用の内製化等により、会員獲得構造の変革を本格化させてまいります。あわせて、男性向けサービス「airCloset Men's」による利用対象の拡大など、成長に向けた取り組みを推進し、営業損益の黒字回帰を目指してまいります。

売上高、売上総利益はairCloset事業における会員数増加に伴う増加、airCloset Mall事業の規模拡大による増加を見込んでおります。

販売費及び一般管理費については、上述の会員獲得構造の変革によるコスト効率の改善に取り組んでまいります。

以上から、当社の2027年6月期の業績予想は、売上高5,690,193千円（前期比9.9%増）、営業利益51,023千円（当期は営業損失234,470千円）、経常利益27,023千円（当期は経常損失252,320千円）、当期純利益27,023千円（当期は当期純損失246,717千円）を見込んでおります。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際会計基準の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,622	665,320
売掛金	365,246	284,742
商品	18,344	38,750
貯蔵品	6,539	17,227
前払費用	48,134	73,700
関係会社短期貸付金	-	10,000
その他	45,954	17,344
貸倒引当金	△9,895	△10,025
流動資産合計	1,566,946	1,097,060
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	771,268	960,189
建物（純額）	152,218	276,005
機械装置（純額）	84,724	71,007
工具、器具及び備品（純額）	10,113	9,377
有形固定資産合計	1,018,324	1,316,579
無形固定資産		
ソフトウェア	191	-
無形固定資産合計	191	-
投資その他の資産		
関係会社株式	58,533	58,533
敷金	142,430	188,137
差入保証金	31,000	31,000
貸倒引当金	△64,430	△64,430
投資その他の資産合計	167,533	213,240
固定資産合計	1,186,049	1,529,820
資産合計	2,752,996	2,626,881

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,775	129,163
短期借入金	572,500	683,997
1年内返済予定の長期借入金	400,000	360,000
未払金	181,884	228,264
未払費用	9,074	41,203
未払法人税等	530	530
前受金	240,925	231,222
預り金	25,380	12,821
契約負債	12,864	10,520
その他	9,918	17,981
流動負債合計	1,617,852	1,715,703
固定負債		
長期借入金	560,000	540,000
資産除去債務	20,704	65,528
固定負債合計	580,704	605,528
負債合計	2,198,557	2,321,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,280	56,908
資本剰余金		
資本準備金	868,261	868,889
資本剰余金合計	868,261	868,889
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△383,845	△630,563
利益剰余金合計	△383,845	△630,563
株主資本合計	540,695	295,233
新株予約権	13,743	10,416
純資産合計	554,438	305,649
負債純資産合計	2,752,996	2,626,881

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当事業年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,957,589	5,175,679
売上原価	2,579,427	2,840,494
売上総利益	2,378,162	2,335,185
販売費及び一般管理費	2,275,739	2,569,655
営業利益又は営業損失（△）	102,423	△234,470
営業外収益		
受取利息	636	1,516
その他	2,752	206
営業外収益合計	3,388	1,723
営業外費用		
支払利息	17,212	18,533
その他	-	1,040
営業外費用合計	17,212	19,574
経常利益又は経常損失（△）	88,599	△252,320
特別利益		
新株予約権戻入益	-	6,365
特別利益合計	-	6,365
特別損失		
貸倒引当金繰入額	64,430	-
特別損失合計	64,430	-
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	24,168	△245,955
法人税、住民税及び事業税	627	762
法人税等合計	627	762
当期純利益又は当期純損失（△）	23,541	△246,717

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金	利益剰余金合計	
				繰越利益剰余金		
当期首残高	50, 251	862, 232	862, 232	△407, 387	△407, 387	505, 096
当期変動額						
新株の発行	6, 028	6, 028	6, 028			12, 057
当期純利益				23, 541	23, 541	23, 541
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	6, 028	6, 028	6, 028	23, 541	23, 541	35, 598
当期末残高	56, 280	868, 261	868, 261	△383, 845	△383, 845	540, 695

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	5,063	510,159
当期変動額		
新株の発行		12,057
当期純利益		23,541
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	8,679	8,679
当期変動額合計	8,679	44,278
当期末残高	13,743	554,438

当事業年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	56,280	868,261	868,261	△383,845	△383,845	540,695
当期変動額						
新株の発行	628	628	628		-	1,256
当期純損失				△246,717	△246,717	△246,717
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	628	628	628	△246,717	△246,717	△245,461
当期末残高	56,908	868,889	868,889	△630,563	△630,563	295,233

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	13,743	554,438
当期変動額		
新株の発行		1,256
当期純損失		△246,717
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,327	△3,327
当期変動額合計	△3,327	△248,788
当期末残高	10,416	305,649

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	24,168	△245,955
減価償却費	562,532	769,143
レンタル用資産売却等に伴う原価振替額	363,696	373,818
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69,351	129
契約負債の増減額 (△は減少)	△7,246	△2,344
受取利息	△636	△1,516
支払利息	17,212	18,533
新株予約権戻入益	-	△6,365
売上債権の増減額 (△は増加)	216	80,503
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,947	△31,093
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,314	△14,150
未払又は未収消費税等の増減額	△36,265	12,273
未払金の増減額 (△は減少)	33,667	11,666
前受金の増減額 (△は減少)	50,492	△9,702
その他	△23,619	3,371
小計	1,077,831	958,309
利息の受取額	636	1,516
利息の支払額	△17,212	△18,533
法人税等の支払額	△627	△762
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,060,627	940,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,334,007	△1,353,273
関係会社株式の取得による支出	△58,533	-
関係会社貸付けによる支出	-	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,000	△45,707
敷金及び保証金の回収による収入	9,851	-
長期預り金の返還による支出	△6,076	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,389,766	△1,408,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	12,057	1,256
短期借入金の純増減額 (△は減少)	155,177	111,497
長期借入れによる収入	-	340,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△400,000
リース負債の返済による支出	-	△11,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,764	41,147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△361,903	△427,302
現金及び現金同等物の期首残高	1,454,526	1,092,622
現金及び現金同等物の期末残高	1,092,622	665,320

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

（資産除去債務の見積りの変更）

当事業年度において、倉庫等の不動産賃貸契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、倉庫等の原状回復費用に関して見積りの変更を行っております。また、原状回復費用の見積り額が、賃貸借契約に関連する敷金の額を上回ることから、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた従来の簡便的な取り扱いによる処理から資産除去債務を負債計上する原則的な取り扱いに変更しております。これにより、資産除去債務は当事業年度期首より44,580千円増加しております。なお、当事業年度の損益に与える影響額は軽微であります。

（持分法損益等の注記）

当社が有している非連結子会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（セグメント情報等の注記）

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報の注記）

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	65円33銭	35円63銭
1株当たり当期純利益または当期純損失（△）	2円86銭	△29円78銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	2円85銭	—

（注） 1．当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2．1株当たり当期純利益または当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益または当期純損失（△）		
当期純利益または当期純損失（△）（千円）	23,541	△246,717
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益または当期純損失（△）（千円）	23,541	△246,717
普通株式の期中平均株式数（株）	8,218,512	8,283,794
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	40,848	—
（うち新株予約権）（株）	(40,848)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。